

ウィーン旅行2015冬

12月23日から冬休みに入り、夏に引き続き**ウィーン**に行ってきました。この旅行は、私的な旅行ですが、**心身ともに健康を取り戻すことや日本の食材や教材を購入する目的で自費で行きます。カイロでの生活は制約が多く、常に緊張を強いられていますので、リフレッシュすることが最大の目的です。**カイロからは近く航空チケットも安いヨーロッパに行くことが多いです。

ウィーンに行ってみてまず気付くことは、**空気がきれいでしっとりとしている**ことです。カイロは、大気が汚染されていることを実感します。それから、新潟の冬のように体の芯まで冷える寒さを思い出しました。やはり、カイロの冬は暖かいことがよくわかりました。

今回の旅行は、11月のフランスのテロ事件の後だったので、エジプト出国やオーストリア入国の審査が、夏よりも厳重でした。特にオーストリアに入国する際、カイロからの飛行機なのでエジプト人が大勢搭乗しています。入国審査で私の前に並んでいたエジプト人は、いろいろ質問されたり指紋を取られたりして、とても時間がかかっていました。前の人をやっと終わって自分の番になって、パスポートを提示すると本人を確認すると何の質問もなく入国スタンプを押してくれました。その間約15秒でした。帰りのオーストリア出国時は、空港のチェックインカウンターでパスポートを入念にチェックされました。そして、係の人は「あなたのことを信頼しているのだけれど、仕事だからごめんなさいね」というようなことを言って、申し訳なさそうにパスポートを返してくれました。**シリア情勢の悪化に伴い、ヨーロッパへ中東の人が大量に流れ込んでいます。**だから、中東の人の審査は厳しいのだと思います。**日本人は信用されている**ことを感じます。外国で生活していると、**いろんな場面で自分が日本人であることを意識します。**これからも、**世界から信頼される日本人でありたい**と思います。

今回の旅行は、クリスマスと重なっていました。ウィーン市内のいろんなところで**クリスマスマーケット**が開かれていました。見ているだけでクリスマスの雰囲気を楽しむことができました。日本のクリスマスとの違いは、お店でクリスマスソングが流れていないことです。だから、大勢の人がいるにもかかわらず、**静かなクリスマス**という印象です。そして25日と26日は祝日で、ほとんどのお店は休みです。**日本のクリスマスがいかに商業的か**がよくわかります。



王宮前のクリスマスマーケット



シュテファン大聖堂